

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	14-053	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名（原題／訳）		
Problem drinking's associations with social structure and mental health care: race/ethnicity differences. 社会環境と精神ケアと飲酒行動との関連；人種・民族差について		
執筆者		
Lo CC, Cheng TC, Howell RJ		
掲載誌		
J Psychoactive Drugs. 2014 Jul-Aug;46(3):233-42. doi: 10.1080/02791072.2014.887161		
キーワード	PMID	
飲酒頻度、飲酒量、人種、ストレス	25052882	
要 旨		
目的： 本研究の目的は、社会環境と精神ケアの両面から飲酒行動を明らかにすることである。		
方法： 白人、黒人、ヒスパニック、アジア人の人種情報を含むアメリカを代表する 12,756 名のデータ（NHIS）を用いた。		
結果： 飲酒行動とある要因の関連は、人種によって違っていた。さらに、白人の問題飲酒がヒスパニック、黒人、アジア人より多い傾向が見られた。アメリカ人はしばしば不十分な環境や社会的不利益から生じるストレスに対してアルコールでやり過ごそうとする。人種間の比較により、このような社会的不利の種類や程度と飲酒行動に関連が見られた。さらに、精神ケアの状況と飲酒行動に関連がみられた。		